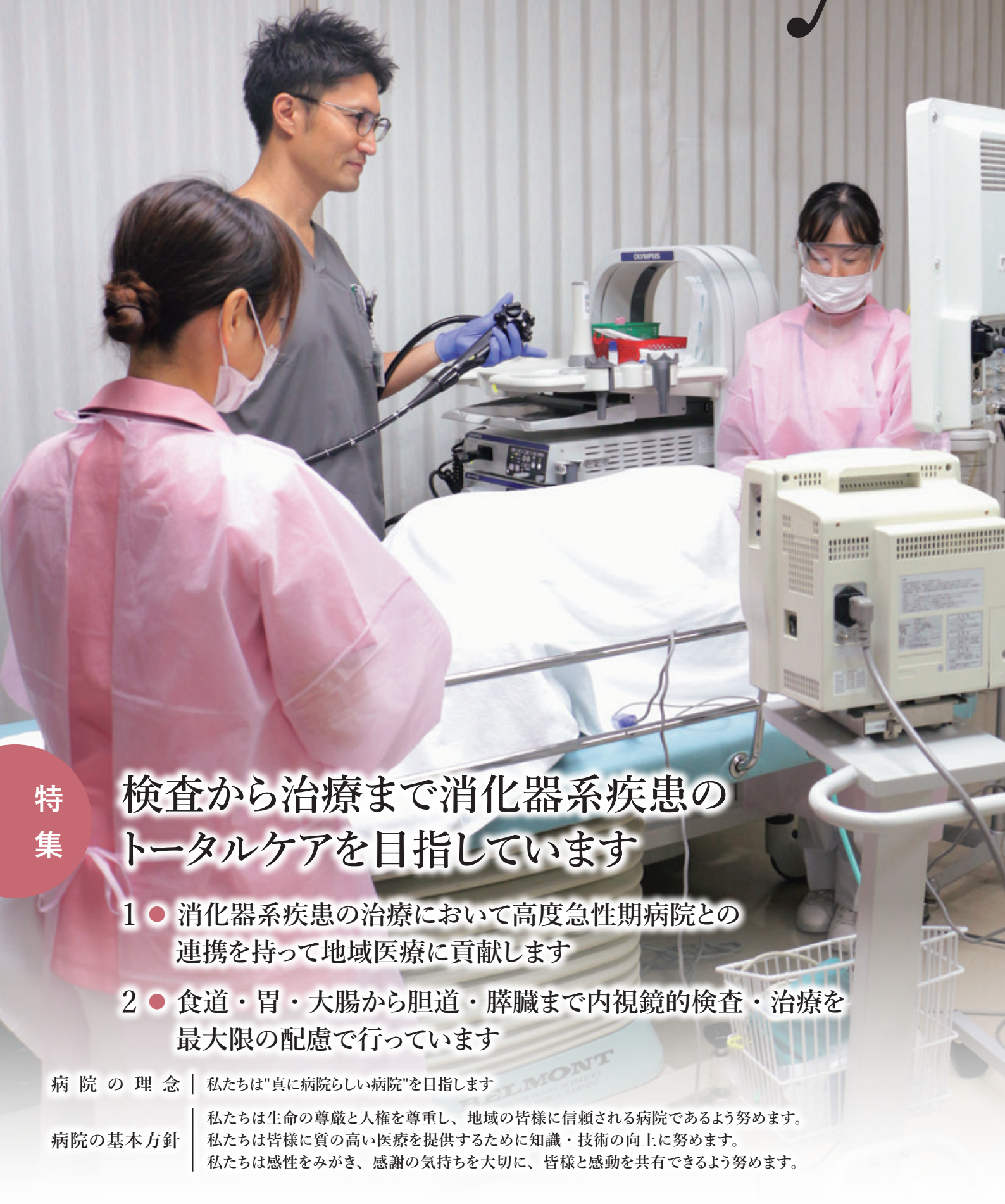




Harmony



特集

検査から治療まで消化器系疾患の トータルケアを目指しています

- 1 ● 消化器系疾患の治療において高度急性期病院との連携を持って地域医療に貢献します
- 2 ● 食道・胃・大腸から胆道・膵臓まで内視鏡的検査・治療を最大限の配慮で行っています

病院の理念 | 私たちは"真に病院らしい病院"を目指します

病院の基本方針

私たちは生命の尊厳と人権を尊重し、地域の皆様に信頼される病院であるよう努めます。
私たちは皆様に質の高い医療を提供するために知識・技術の向上に努めます。
私たちは感性をみがき、感謝の気持ちを大切に、皆様と感動を共有できるよう努めます。

消化器系疾患の治療において高度急性期

Feature

病院との連携を持って地域医療に貢献します

■地域密着型病院として消化器疾患の早期発見や内視鏡治療をおこないます

当院は日本消化器内視鏡学会認定施設、日本消化器病学会認定施設となっており、常勤の日本消化器内視鏡学会認定の専門医と岡山大学病院からの専門医が検査を担当しています。また、オリンパス社製内視鏡システムを導入し、高画質な画像で、より鮮明な観察や診断が可能となり、診断能力の向上に日々努めています。上部内視鏡検査ではNBI（Narrow Band Imaging：狭帯域光法）モードで検査することによって、咽頭、喉頭等の耳鼻科領域のがんや食道がんの早期発見も可能となり、また拡大観察をすることもできるため、早期がん（食道がん、胃がん、大腸がん）のより正確な診断も可能です。

一方、内視鏡による治療は、ポリープの切除や止血処置、食道静脈瘤からの出血に対する結紮術等を行っています。咽頭・喉頭のがん、食道表在がん、早期胃がんなどについては内視鏡手術時の合併症やその後の追加治療の関係もあり、高度急性期病院へ手術を含めた精査加療目的で紹介していますが、逆に高度急性期病院からは、治療後のフォローアップや手術後の全身管理、栄養管理、リハビリテーションなどを目的とした転院依頼を積極的に受けています。具体的には、岡山大学病院、川崎医科大学附属病院、川崎医科大学総合医療センター、倉敷中央病院、岡山市立市民病院、岡山赤十字病院、岡山済生会総合病院、岡山労災病院、岡山医療センターなどの高度急性期病院と密接に医療連携を行うことで、切れ目のない診療を行っています。

当院は、以前より岡山大学病院の消化管外科を中心に連携を行い、術前術後の患者さんの全身管理を行っています。そのノウハウを生かして、平成29年6月に、周術期管理センターを立ち上げました。消化器外科と消化器内科の院内連携も今まで以上に密接に行っており、術後のドレーン管理や内視鏡治療（消化管狭窄の拡張、イレウス管治療、胆管ステント留置など）などにおいても質の高い医療を提供し、高度急性期病院で手術を受けた患者さんが安心して退院していただけるよう努めています。

にお越しいただくだけで、長時間の待ち時間を要することなく、速やかに検査を受けていただけます。検査後は外来で検査結果をご説明し、必要があれば処方などもさせていただきます。診療情報提供書として診療結果を連絡させていただきます。内視鏡検査を必要としている患者さんにスムーズに検査を受けて頂きたいと考えておりますので、何卒よろしくお願いいたします。



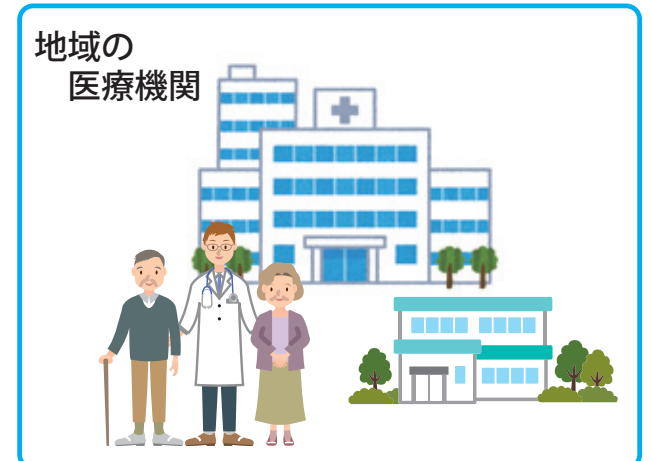
消化器内科メンバー

■上部内視鏡検査予約の簡略化について

当院では、地域の診療所やクリニックの先生向けに、内視鏡検査の予約をFAXにて簡便に取っていただけるシステムを平成30年5月より運用しています。内視鏡検査は非常に身近な検査であり、検査を必要とする患者さんは多数おられるのではないかと思います。しかしながら実際に内視鏡検査を受けるまでには、診療情報提供書を作成して、紹介という形式を取らなくてはならない煩雑さがあったり、実際に患者さんが紹介受診する際に待ち時間があつたりすることによって、地域の先生方にとっても、患者さんにとっても、内視鏡検査を受けることの敷居をあげてしまっている現状があるのではないかと考えています。この問題を解消するためには、より簡便に内視鏡予約を取ることができ、また患者さんには待ち時間なく内視鏡検査を受けていただけるシステムが必要です。

そこで、当院の内視鏡検査のFAX予約システムでは、2種類の必要書類をFAXしていただくだけで、簡便にかつ速やかに、内視鏡予約をとらせていただくことが可能になります。

検査当日の流れとしましては、患者さんには、当院の予約票を持って、検査予約時間の約30分前に外来受付

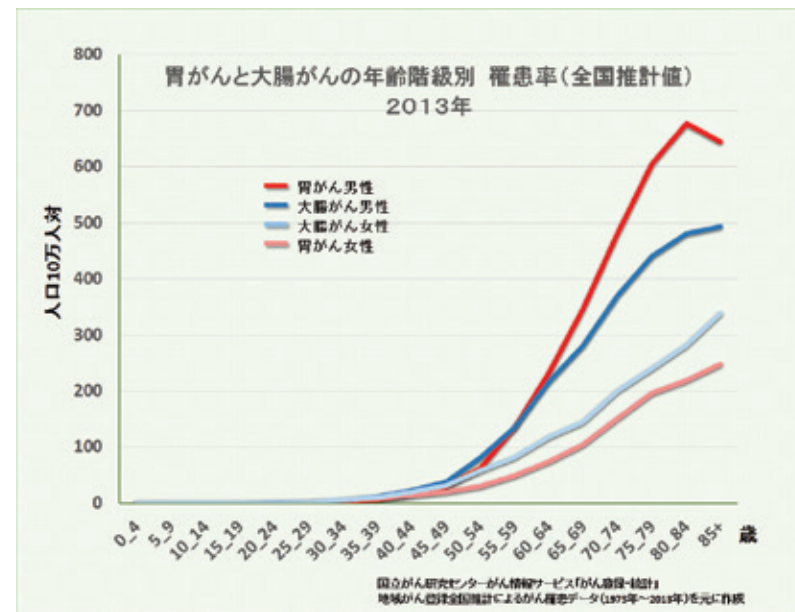


食道・胃・大腸から胆道・膵臓まで内視鏡的 検査・治療を最大限の配慮で行っています

■内視鏡検査を受けることのメリット

当院では、食道、胃、大腸から胆道や膵臓まで内視鏡検査や治療を行っています。消化器系疾患において内視鏡検査は非常に重要です。特に「がん」の早期発見においては、内視鏡検査は大きな力を発揮します。

例えば、胃がんにおいては、内視鏡検査によって、ピロリ菌感染による胃粘膜の変化が強いかどうか、広範囲にあるかどうか、などピロリ菌の胃粘膜への影響がどこまであるかを診断でき、それは胃がんのリスク評価に直接つながります。そのためリスクが高い胃の患者さんには胃がんを早期発見できる検査間隔を提案することができます。



40歳以上から胃がんのリスクは急激に高まっていくと報告されているので、40歳になったら内視鏡での胃の検診を検討していただきたいと思います。

大腸がんにおいても、大腸がんは腺腫と言われるポリープから発生すると言われてるので、この腺腫を内視鏡検査で発見し、切除することで、大腸がんの芽を摘み取ることができるわけです。大腸の内視鏡検査は、大腸がんの予防やリスク評価をすることができます。また、大腸がんも40歳以上から急激にリスクが高まっていくと報告されているので40歳以上の方には特に内視鏡検査を受けていただくことを検討していただきたいと思います。

少しでも楽に検査を受けていただけるようにしています。また、ご希望の方には楽に検査を受けていただくために鎮静剤を使用することも可能です。ただし、鎮静剤を使用する場合は鎮静剤の注射後、当日の車の運転はできませんのでご注意ください。下部内視鏡検査では、「軸短縮法」という腸を伸ばさない、腸にとって負担の少ない手法を用

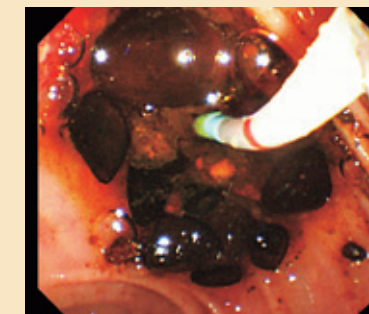
いて検査を施行いたします。また、体位変換や用手圧迫をすることで、腸の中の空気を移動させたり、腸管自体を固定や移動をさせることで、少しでも腸管に負担をかけないように内視鏡検査を行う工夫をしています。そうすることで、腸管にとって優しい検査ができるため、痛みもなくお喋りをしながら検査を受けていただくことが可能です。

【Topics】当院では胆道・膵臓の内視鏡検査も行っています

やや特殊な検査になりますが、当院では胆道や膵臓の疾患に対する内視鏡検査、治療も行っています。胆道とは、肝臓で作られた胆汁という消化液が十二指腸に流れ出るまでの道のりである胆管や胆嚢のことです。また膵臓で作られる膵液という消化液も、膵臓内の膵管という管を通して十二指腸に流れます。この胆管と膵管の十二指腸への開口部は十二指腸乳頭と呼ばれますが、特殊な内視鏡を用いてこの十二指腸乳頭から胆管や膵管に向かって処置具を挿入して、検査や治療を行う内視鏡処置のことを、ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査）と呼びます。

具体的には、胆管の中に胆石が詰まってしまうたり、胆管がんなどによって胆道が閉塞され黄疸を発症した症例などに対して、内視鏡を使用して結石除去を行ったり、胆汁の通過の悪い部分を橋渡しするように、ステントという管を挿入して黄疸を改善させる等の治療を行っています。

この治療は、緊急を要する場合もあるため、当院ではこの処置のためだけに、わざわざ患者さんに高度急性期病院に転院していただくことはしておらず、当院で治療をしています。ご高齢の患者さんで、不慣れた大病院ではなく、通い慣れたこの地域で治療をしたいと希望される患者さんもおられると思いますので、その際には当院にご相談いただけましたら、お力になりたいと思っています。



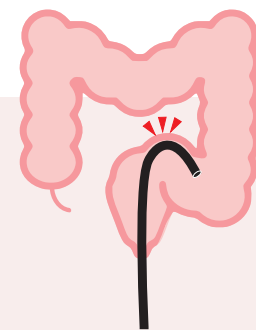
胆管結石の画像



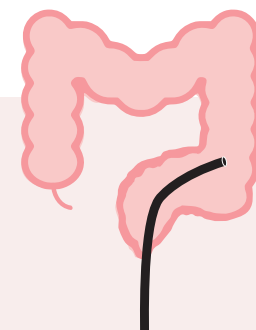
レントゲン画像

■内視鏡検査を快く受けていただくために、最大限の配慮をいたします

当院では、少しでも楽に内視鏡検査を受けていただくために患者さんの希望に合わせて、様々な工夫や配慮をしています。少しでも楽に落ち着いて検査ができるように、呼吸方法をお伝えしたり、検査中もお声かけをさせていただき不安の軽減に努めたり、嘔吐反射が強い方には直径が5mm程度の経鼻内視鏡（細径内視鏡）を使用し、



腸管が引っ張られ痛みが発生



腸の形をコントロールして挿入すると痛みが出ない

より一層の入退院支援を目指します

この度、地域連携室と医療福祉相談室が「入退院支援センター」として統合し、これまで以上に入院支援から退院支援へ円滑に繋がる連携活動に取り組んでいきたいと思ひます。

入院支援では、入院支援看護師やソーシャルワーカーが転入前訪問に行かせていただき、患者さんの状態把握とベッド周囲の環境、必要な物品の情報、社会保障制度などの確認をしています。また、訪問時には「お待ちしております」と声をかけさせていただき、顔の見える関係づくりを心がけています。

訪問後は、日々のベッドコントロールで前方支援から後方支援、病棟、外来も含めた情報伝達を行っており患者さんやご家族が安心して療養できる環境を整えています。

退院支援では、入院時から退院支援看護師やソーシャルワーカーが医師・病棟看護師・薬剤師・リハビリスタッフ（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）などの多職種と協力して、患者さんがその人らしい生活を送れるよう、医療・生活・介護などの様々な不安に個々に応じて細やかに対応していきます。

住み慣れた場所で生活を送るためには、様々な支援が必要な場合があります。退院後の生活環境を整えるために、多職種と連携し退院前訪問や退院後訪問に同行して、在宅での療養環境、地域のかかりつけ医や在宅サービスの関係機関と連携し、退院後も安心して生活を送れるよう支援させていただきます。

医療・介護制度についてご相談がございましたら、1階総合受付に声をおかけ下さい。入退院支援センターの職員が対応させていただきます。

今後も、日々精進して参りますのでよろしくお願い致します。



入退院支援センターを立ち上げました。
今後ともよろしくお願いいたします。

Patient Flow Management

NEWS 1

外来フロアで
広く目を行き届かせています

当院では、来院者の皆さまに向けて「コンシェルジュ」によるサービスを昨年より開始しており、多くの方からご好評頂いています。

診療日の午前中、外来受け付け付近に担当者1名を配置し、外来受診案内、施設案内、入院関連案内などを行います。ご不明なことやお困りごとがございましたら、どうぞお気軽に声をおかけください。また、こちらからも積極的に声をかけさせていただきます。



NEWS 2

夏祭りを通じて
皆さまとふれあいました

患者さんや地域の皆さまと当院の職員とのふれあう場の一つとして8月7日(火)に夏祭りを正面玄関前で開催しました。

今回の夏祭りも、焼きそば、綿菓子などの屋台や射的、ヨーヨーつりなどのゲームコーナーを設け、昨年と同様に多くの方でにぎわいました。また、この祭りのクライマックスは、前々日の「うらじゃ」で皆さまから熱い声援を受け踊りはじけた「温羅★重井連」が、息の合った演舞の披露と総踊りで、会場内を一気に盛り上げてくれました。

真夏の宵の内で、みんなが一緒になって楽しんだひと時でした。



予 定 表 外 来 診 察

Outpatient care schedule

受付時間 8:30~12:00 (再診の方は、再来受付機にて午前8時より受け付けています)
13:30~17:00

休診日 木曜・日曜・祝日
(急病の場合は、あらかじめ電話で対応可能かどうかのお問い合わせをお願いいたします)

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	糖尿病・肝臓 (生活習慣病)	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎) 大森 一慶 (総・糖)	大森 一慶 (総・糖・腎)	荒木 俊江 (総・糖) 池田 弘 (肝)	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎) 十川 圭司 (総・糖) 福島 正樹 (腎)	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎) 荒木 俊江 (総・糖) 福島 正樹 (腎)
		腎臓	福島 正樹 (腎)(紹介・初診のみ)	—	福島 正樹 (腎)	休 診	福島 正樹 (腎)
	消化器	藤本さおり (総・消)	西山 仁樹 (消)	山本 直樹 (総・消)	岡 優子 (総・消)		岡 優子 (総・消)
			藤本さおり (総・消)	山本 直樹 (総・消)		山本 直樹 (総・消)	
★総:総合内科 腎:腎臓 肝:肝臓 糖:糖尿病 消:消化器 ★健診は、西山仁樹(月・火・水・金・土)が担当しています							
午後	一般外来	交代医師	交代医師	交代医師	休 診	交代医師	交代医師
	専門外来 (予約)	(肝臓・ 生活習慣病) 池田 弘	(糖尿病・腎臓病) 真鍋 康二 荒木 俊江	—		—	—
名誉院長外来	午前	—	腎臓・内科一般 瀧 正史	—	休 診	—	—
小児科	午前	瀧 正史	虫明 亨祐	虫明 亨祐	休 診	虫明 亨祐	瀧 正史
		虫明 亨祐	今村 昌司	今村 昌司		今村 昌司	虫明 亨祐
午後	交代診療 予防接種	交代診療 予防接種	交代診療 予防接種	交代診療 予防接種		交代診療 予防接種	
小児療育	午前 完全予約制	今村 昌司	川田 珠理	川田 珠理		今村 昌司	今村 昌司
	午後 完全予約制	今村/河野	川田 珠理	川田/赤池	今村/川田	今村 昌司	
★小児療育は初診の方は完全予約制(火曜・水曜午前中)です。予め電話での予約をお願いします。 他の曜日に来院されてもお帰りいただく場合がございます。ご了承下さいますようお願いいたします。							
外科	午前	櫻間 教文	平松 聡	平松 聡	休 診	平松 聡	平松 聡
ダイアライ シスアクセス 専門外来	午前	櫻間 教文	櫻間 教文	櫻間 教文		櫻間 教文	櫻間 教文
★ダイアライシスアクセス専門外来は、完全予約制です。予め電話での予約をお願いします。 ★時間外でも可能な限り対応いたします。電話でお問い合わせ下さい。							
泌尿器科 (予約)	午後	—	—	—	休 診	岡山大学	—
皮膚科	午後	—	太田 知子	太田 知子	休 診	—	—
眼科	午後	第4月曜日 岡山大学	—	—	休 診	—	—

Information



重井医学研究所附属病院

〒701-0202 岡山市南区山田2117
TEL 086-282-5311 / FAX 086-282-5345
<http://www.shigei.or.jp/smrh/>

関連施設
 しげい病院
 重井医学研究所附属病院
 重井医学研究所
 岡山しげい訪問看護ステーション
 岡山しげい居宅介護支援事業所
 倉敷しげい訪問看護ステーション
 倉敷しげい居宅介護支援事業所
 倉敷しげい訪問看護ステーション
 倉敷しげい居宅介護支援事業所
 倉敷しげい植物園
 倉敷昆虫館
 健康増進施設 はあもにい倉敷

